

釧路湿原川レンジャー News

2021 Vol.2

第2回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第2回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和3年11月4日に開催し、15名の川レンジャーが参加しました。今回の学習会は温根内ビジターセンターと釧路湿原野生生物保護センターの見学を行い、釧路湿原の植物や希少な野生鳥類等について学びました。



■ 温根内ビジターセンター ■



温根内ビジターセンターでは、センター内での見学と木道散策の2班に分かれ学習しました。



位置図

■ ビジターセンター内見学

センター内では釧路湿原に堆積している泥炭や湿原内にある底なし沼、谷地眼（ヤチマナコ）について解説していただきました。



釧路湿原の土層



泥炭を持ってみました



天井の絵がヤチマナコの水面です。深さは3mほどのものもあるそうです。落ちると簡単には出られませんね。

水面
ヤチマナコの深さ
底

■ 木道散策

木道散策では、ヤチマナコの中に4m程の棒を入れ深さを測ったり、湿原でよく見られるヤチボウズやハンノキについて解説していただきました。途中、たくさんのシマエナガに遭遇する場面もありました。



深～いやチマナコ



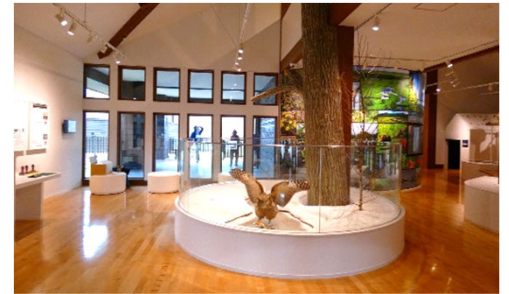
シマエナガ

あいにくの雨模様でしたが、みなさん熱心に解説を聞いておられました。参加された皆さま大変お疲れ様でした。



■ 釧路湿原野生生物保護センター ■

釧路湿原野生生物保護センターは、シマフクロウ、オジロワシ、オオワシ、タンチョウなどの希少鳥類の保護、治療、放鳥に向けたリハビリ等を行っています。今年8月にリニューアルされ、保護された野鳥を見学できるバックヤードツアーと見学の2班に分かれ学習しました。



■ バックヤードツアー

交通事故や風力発電施設等に衝突し、ケガをして収容されたオオワシ、オジロワシをケージ棟の窓から観察しました。保護方法や野鳥の感電を防止する器具についての解説を聞きました。



ケージの中は



このツアーは保護された鳥類について理解していただき、保護された鳥類に掛かる費用を集める目的により有料で行われています。

■ 保護センター内見学

センター内にはシマフクロウの捕食の瞬間を再現したジオラマや道東の四季の画像などが放映されており、展示物を見学しました。



死んでいる野鳥を見つけたら

素手で触らず各振興局または各市町村役場にご連絡をお願いします。タンチョウ、シマフクロウなど希少な野鳥は環境省、野生生物保護センターへご連絡ください。



■ 観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありました。今後も釧路湿原川レンジャーNewsに紹介していきます。みなさまからの活動報告をお待ちしております。



釧路川周辺の動植物情報をいただきました。

川にゴミが不法投棄されている、看板が壊れているなど小さな情報でもお知らせください。

報告日	報告内容
令和3年10月23日	動植物

かわたび
ほっかいどう



北海道の川や湖などの「水辺」の魅力やイベント情報を発信しています！

